

一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第19号

2014年6月30日発行

編集・発行 総務委員会

真の改革の推進を ～学生柔道スピリッツ～

昨年は、柔道界の一連の不祥事によって、日本柔道の社会的な信頼が失われ、学生柔道においても厳しい批判にさらされた一年でありました。しかしスポーツ界全体としては、東京五輪開催が決定され国内でのスポーツ、特に五輪競技に対する関心は日増しに高くなっております。こうした中、すでに柔道界は、信頼回復のため、一丸となり、「変えるべきは変え、守るべきは守る」の方針のもと改革に向けた取り組みを進めております。学生柔道連盟も改革にあたっては、不撓不屈の学生柔道スピリッツをもって、率先垂範の行動をしていかななくてはならないと考えております。

同時に、先人の努力により今日まで築き上げてこられた学生柔道連盟は、教育機関としての使命を有しております。連盟は、いかなる困難があろうとも、学生諸君が実社会に出て、有為な人間として活躍ができるよう、様々な機会を創出し諸事業を展開して参る所存です。

本年度は、佐藤宣践会長5期目のスタートの年となります。これまでも増して佐藤会長の強いリーダーシップのもと、執行部一丸となり直面する課題解決や将来展望に立った改革への取り組みを行ってまいります。なお、総務・教育・財務・競技の各委員会（下記参照：組織図）では、諸事業推進のため、活発な議論とともに実践的な提案と行動が展開され、その実をあげるべく活動しております。その中での取り組みとして、平成27年度より「学生の大会出場資格に係る単位取得」制度がスタートします。この制度実施により連盟として、学生スポーツとしての文武両道の意義を深めていくこととなります。また不祥事の再発防止や信頼回復の取り組みとして、諸規定の設置（倫理規定等）を致しました。

自立した財政基盤の確立

現在の柔道界を取り巻く厳しい社会環境は、本連盟の財務運営にも影響を与えており、財源確保も大変厳しい状況が続いており、持続可能なあらたな財政基盤の構築は急務であります。佐藤会長の提唱により導入され、成果を発揮しているオフィシャルサプライヤー制度とサポーター（賛助会員）制度の拡充を軸に、安定財源確保に努めていきます。また諸事業におけるコスト削減は、数値目標化をはかり徹底してまいります。「身の丈にあった」自立的な運営を堅持して、将来的な基盤づくりをして参ります。

法人としての役割の遂行

昨年度は、主催する3大会をはじめ、教養講座・海外研修・審判講習会（3回）・学生柔道に関する助成などを実施しました。

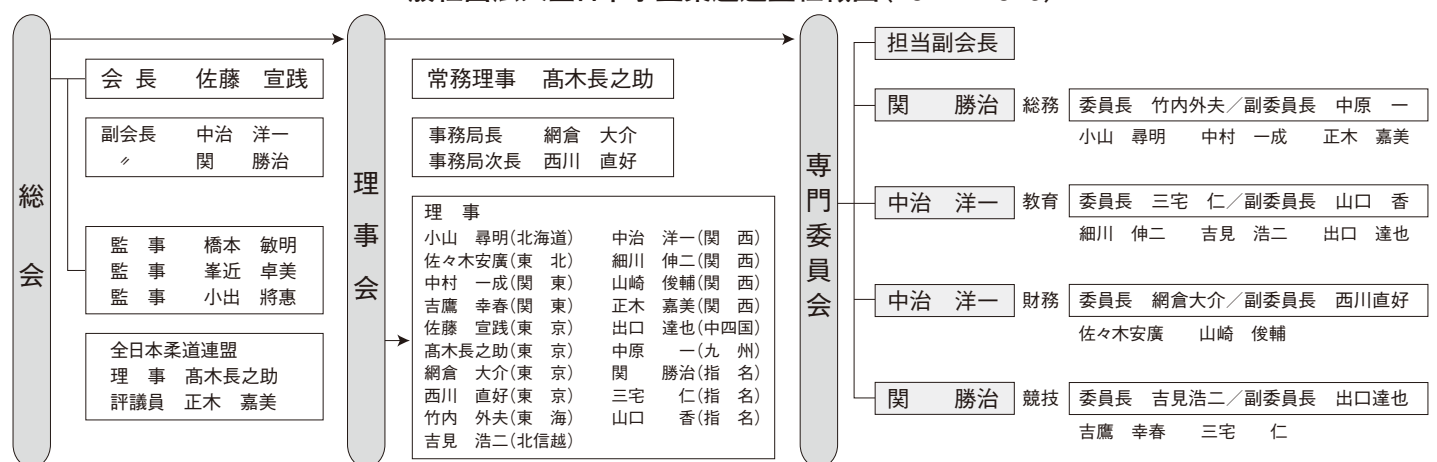
本年度は、改革の精神と併せて東京五輪へ向けた国際性にも着目し諸事業を展開いたします。大会事業としては、伝統ある全日本学生柔道優勝大会等、三大会を開催いたします。また、教育的な視点から、グローバルな人材を育成することを目的にして実施されている海外研修事業は、これまでの実績を踏まえ準備を進めております。尚、教養講座事業に関しましては、柔道界の厳しい環境を踏まえ、教育機関として相応の内容を計画して参ります。

運営方針の継続

本年においても運営指針を定め、開かれた連盟運営に努めて参ります。これまで以上に各地区学連との連絡調整や、会員との双方向での情報交換の充実を図り連盟の健全運営に努めます。各位のご協力をお願い申し上げます。

常務理事 高木長之助

一般社団法人全日本学生柔道連盟組織図(2014-2015)



正会員数(地区学生柔道連盟別・2014年6月27日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
19	22	40	47	29	20	55	32	34	298

【北海道】

北海道の学生柔道の活性化への願いは、これまで一貫して基本目標として掲げ可能なところから取り組んできています。

昨年度からは全日本学生柔道連盟主催の海外研修派遣制度で北海道から派遣され海外の柔道に触れ研鑽を積んできた学生から少しでも多くのこと学びとろうと、5月の学生柔道優勝大会の開会式の際には、2大学2名の学生からそれぞれ貴重な体験を出場選手の前で発表してもらいました。本年も今年2月に全日本学生柔道連盟の海外研修に派遣され、その後全日本女子柔道選手権に出場した旭川大学の吉岡優里選手には開会式で全出場選手を前にして貴重な経験をお話してもらいました。

これまで道内の現役学生には柔道連盟公認審判員の資格取得に向けてはあまり積極的な動きはありませんでした。当連盟では、学生の審判員資格の取得を後押ししようと考え、全日本学生柔道連盟の助成事業で行う審判講習会に学生にも参加してもらい審判規定について理解を深めました。まだ少数の大学に限定されてはいますが、昨年は、審判ライセンス取得に向けた取り組みが生まれてきています。11月に行われました学生柔道新人大会には、北海道では初めて学生の審判ライセンスの取得者が審判員を務めました。柔道部出身学生の卒業後の柔道との関わりを何らかの形で深めてもらうためのこういった取り組みは、学生個人々の将来のキャリア形成にも好影響を与えるだけでなく、将来に向けた地域における柔道人口の底辺拡大に寄与するものと期待しています。

当連盟では本年度も各大会の運営に学生を積極的に参画させる姿勢を推進していくほか、学生の卒業後のいわゆる柔道キャリアの形成を図っていく観点からも審判ライセンスの取得や公認柔道指導者資格取得への機運作りに向けた働きかけを行っていくことを確認しています。

本年度の当連盟の各大会日程は以下の通りです。

- ・ 5月25日：北海道学生柔道優勝大会
- ・ 8月30日：北海道学生柔道体重別選手権大会
- ・ 8月31日：北海道学生柔道体重別団体優勝大会
- ・ 11月25日：北海道学生柔道新人大会、北海道学生女子柔道階級別選手権大会

北海道学生柔道連盟 事務局長 十倉 宏

【東北】

東日本大震災から早3年がたった。国内外からの多くのご支援により少しずつ復興に向かっていているが、今だ避難所生活を余儀なくされている方も多く、柔道ができることに感謝したい。

1. 東北学連役員の改選

平成26・27年度の主な役員は以下のとおり。

顧問	佐々木武人・前東北学連会長
会長	遠藤 純男
副会長	高橋富士男・東北学院大学
副会長	村本 光二・東北大学
理事長	佐々木安廣・富士大学
副理事長	三戸 範之・秋田大学
副理事長	高橋 俊也・弘前大学
監事	大関 貴久・東日本国際大学
監事	南條 充寿・仙台大学
事務局長	仲田 直樹・仙台大学
学生委員長	大内さおり・仙台大学

2. 東北学生柔道優勝大会 2部制について

今年度の東北学生優勝大会を数年前まで実施していた2部制に戻すこととした。近年、今大会への参加校が減少してきており、東北学生柔道界の活性化が第一の目的である。昨年秋より本大会への不参加理由を始め、様々な質問アンケートを全加盟大学へ行った。その結果、部員が7名揃わないことや、競技力に差がありすぎて出場できない等の理由がわかった。それらの大学が参加しやすい配慮を行い、私が事務局長として行う初めての試みであるが成功させたい。

3. 今年度の大会予定

①東北学生柔道優勝大会

5月25日（日）宮城県武道館

②東北学生柔道体重別選手権大会

8月30日（土）秋田県立武道館

③東北学生柔道体重別団体優勝大会

8月31日（日）秋田県立武道館

東北学生柔道連盟 事務局長 仲田 直樹

【関東】

平成26年度に向けて

本年2月に行われた平成25年度関東学生柔道連盟総会において、役員改選が行われ、小俣幸嗣先生を会長とした2期目の体制が整えられた。

会長：小俣幸嗣（筑波大学）、副会長：柏崎克彦（国際武道大学）、木村仁（神奈川大学）、野瀬清喜（埼玉大学）、（新）西田孝宏（山梨学院大学）理事長：（新）吉鷹幸春（桐蔭横浜大学）、副理事長：中村一成（防衛大学校）、（新）越野忠則（国際武道大学）、理事：木村昌彦（横浜国立大学）、岩崎卓（流通経済大学）、岡田弘隆（筑波大学）、矢崎利加（国際武道大学）、廣川充志（桐蔭横浜大学）、（新）山部伸敏（山梨学院大）、三宅仁（平成国際大学）、小山勝弘（山梨大学）、増地千代里（筑波大学）、（新）高橋進（関東学園大学）、（新）山田利彦（了徳寺大学）、監事：小川正行（群馬大学）、（新）石井兼輔（国際武道大学）、事務局長：増地克之（筑波大学）、事務局次長：（新）宮本健治（清和大学）、（新）竹澤裕稔（関東学園大学）。本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

さて、平成26年度の本連盟の主な事業計画は、5月25日関東学生柔道優勝大会（男子61回 女子20回）、8月30、31日関東学生柔道体重別選手権大会（男子53回 女子27回）の競技会の開催、年1回の審判講習会の開催及び海外研修の実施である。

昨年度は本連盟独自の海外研修の一環として、香港国際大会へ関東学生柔道連盟から12名の選手を派遣し、金メダル5個・銀メダル2個・銅メダル3個を獲得することができた。この好成績をステップとして参加選手には更なる飛躍を期待する。

また、今年8月にロシアのチェリャビンスクで開催される世界柔道選手権大会に本連盟に所属する81kg級の永瀬貴規選手（筑波大学3年生）が日本代表として選出された。今回初めての世界挑戦となるが、良い成績を収められることを期待したい

関東学生柔道連盟 事務局長 増地 克之

【東京】

役員改選を実施

～高木会長及び執行部体制決まる～

東京学生柔道連盟は、本年3月の定例評議員会におきまして高木長之助会長が再任されました。併せて、下記のとおり執行部が決定されました。各加盟校との連携をより深めていくために、新たな役員も加わり、より充実した体制となりました。

続投に当たり高木会長は、「昨年の柔道界の一連の不祥事から真摯に学び、様々な改革を推進していきたい。厳しい船出ですが、連盟の伝統を築いてこられた先人の取り組みにあらためて感謝し、身の丈にあった連盟運営を心がけ、学生柔道の健全な発展に努めたい。」と考えを述べられました。

（組織運営）

連盟運営の方向性を示す「運営ガイドライン」を、従来どおり策定し、自主財源ベースの運営を目標におきます。

（財務状況）

現在、高木会長の指導のもと財務状況は安定しており、概ね期首の数値目標を達成しております。安定財源確保のために、佐藤前会長が提唱された「Come Back 柔道連盟サポーター（賛助会員）」は、毎年多くのご加入をいただき、連盟事業にも会員の皆様に多数ご来場いただき実をあげております。さらにホスピタリティーを向上させていきたいと考えております。また、事務費の節減に効果を示したIT化に関しては、本年もバージョンアップを進めて参ります。併せて連盟ホームページの充実や環境対策として資料等のペーパーレス化も推進していきます。これまでの取り組みとしては各地区のご協力をいただき「大会ウェブ申し込み」に関しては定着しましたが、改善等も試みます。

（教育普及）

これまで成果を挙げてきました海外研修事業を来春予定しております。国際人の育成にも寄与する事業として、連盟全体に波及させていく事も含めて充実させていきます。また、学生柔道の裾野を広げ、かつ技術的な向上を目的として事業化しています「柔道出前講座」も定着しており、本年も実施予定です。さらに社会貢献・奉仕の心を養うために、例年通り全国視覚障害者柔道大会の運営協力を行う予定です。併せて、学生のマネジメント能力育成のために全国大会・世界大会等の運営協力に関しても実施していく予定です。

本年度も、学生役員を中心にした運営を心がけ、加盟校

の意見を反映させることにより、オープンな連盟運営を行いたいと考えております。各地区連盟の皆様のご協力をお願いいたします。

東京学生柔道連盟 平成26年度・27年度役員

会 長	高木長之助 (日本大学)
副 会 長	関 勝治 (明治大学)
	小山 泰文 (国士舘大学)
	大八木 諭 (中央大学)
	白瀬 英春 (東海大学)
	石原研二郎 (東京大学)
	西田 幸介 (法政大学)
	網倉 大介 (日本大学)
理 事 長	網倉 大介 (日本大学)
副 理 事 長	西川 直好 (法政大学)
	廣瀬 伸良 (順天堂大学)
監 事	橋本 敏明 (東海大学)
	藤根 崇雄 (専修大学)
事 務 局 長	西川 直好 (法政大学)
事務局次長	田村 昌大 (順天堂大学)
総務事業委員長	西川 直好 (法政大学)
財務委員長	青井 久幸 (中央大学)
普及委員長	廣瀬 伸良 (順天堂大学)
普及副委員長	佐藤伸一郎 (拓殖大学)
普及副委員長	田村 昌大 (順天堂大学)
学生委員長	三木 隆士 (拓殖大学)
学生副委員長	小野 勇太 (法政大学)

東京学生柔道連盟 理事長 網倉 大介

学生委員より

私達、学生委員は4年生3名、3年生1名、2年生3名、1年生1人の計8名で平成26年度のスタートを切りました。それぞれ所属する大学は異なりますが、個性豊かで賑やかな面々です。全員が自分の仕事に責任を持ち、日々活動を行っております。

当連盟では年間2つの全国大会、4つの東京大会の運営と学生柔道の普及・発展のための諸事業を主な活動としており、学生委員としての仕事は、他では経験できない事ばかりです。色々な縁が重なって東京学生柔道連盟に携わる事ができ、また多くの方に支えられ活動ができているという事への感謝の気持ちを忘れずに大会運営のシステム向上に微力ながら貢献していきたいです。

また嘉納治五郎師範の教えにあります「精力善用」「自

他共栄」の精神に則り、学生柔道連盟学生委員としての多くの経験を社会に出た際に活かしていく事を最大の目標とし、日々練習に打ち込んでいる選手と同じ気持ちで事業に取り組んでいきたいと考えています。

昨今、各メディアにおいて柔道界が取り沙汰されています。そのような中でも日々の稽古に励んでいる選手が大会という舞台上で日頃の練習の成果を遺憾なく発揮できる環境づくりができるよう学生委員一丸となって精一杯努力いたします。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一層のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 学生委員長 三木 隆士

【東海】

本連盟は一昨年度結成60周年を迎えました。平成26年度における加盟大学等は30校、結成時より加盟の三重大学が部員不足により退会を余儀なくされた事は大変残念なことであり、再興を心から祈る次第です。また、同じ三重県所在の皇學館大学が選手強化を進め、昨年度の東海学生柔道冬季優勝大会において、決勝まで勝ち進んだ事は、恒常的に全日本学生柔道優勝大会の出場を競う上位大学にとって、新たなライバルの出現となりましたが、連盟全体のレベルの向上と活性化を図るうえで期待が高まる出来事でもありました。

本連盟主催の大会は全日本学生柔道体重別団体優勝大会東海選考会を除き、愛知県武道館で開催しています。

平成23年度まで東海学生柔道夏季優勝大会（以下「夏季大会」）と東海学生柔道体重別選手権大会は、3試合場が常設された第三競技場（柔道場）で開催していましたが、参加チーム数や参加人数に対応した試合会場とは言い難く、運営面と安全の十分な確保という点においても課題がありました。また、観客席数も観戦者や応援者の数に対して不足しており、試合会場の周りの狭い板敷の通路には人が溢れ、移動もままならない状態でした。

これらの課題を解決する為、平成24年度の夏季大会から、愛知県体の柔道競技の会場となった第一競技場（アリーナ）を使用し、本年度で3年目を迎える事となりました。試合会場も隣接と十分な間隔をとった6会場となり大会運営の効率化が図れました。2階に設置された観客席により観客者・応援者の収容も十二分となりました。第一競技場はこれまで全日本女子柔道選手権大会や愛知県体の柔道競技会場として使用されており、大会のロイアリティの高まりも少なからずもたらされたものと考えます。

第一競技場は多種の屋内競技に使用されるため板敷の床になっており、試合会場の設営に当たっては畳の敷設を伴います。所属する殆どの部員が当日選手として出場する大学が多いため、大会運営とともに、高校柔道部の協力を得ております。課題として大会の運営経費の増額への対応があります。大会費用は広告協賛費、参加料と連盟からの負担金で賄われていますが、参加大学の受益者負担の在り方について、今日までの経緯を踏まえ、他の学生連盟も参考にさせて頂きながら検討していく所存です。

【今年度の大会予定】

5月18日（日）

第61回 東海学生柔道夏季優勝大会

第21回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

8月31日（日）

第33回 東海学生柔道体重別選手権大会

第31回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

9月6日（土）

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

（男子16回・女子6回）東海選考会

11月16日（日）

第62回 東海学生柔道冬季優勝大会

11月22日（土）

第6回 東海学生女子柔道冬季優勝大会

【昨年度の大会報告】（優勝のみ）

第60回 東海学生柔道夏季優勝大会

一部 名城大学 二部 中部大学

第20回 東海学生女子柔道優勝大会

5人制 朝日大学 3人制 名城大学

第61回 東海学生柔道冬季優勝大会

一部 名城大学 二部 中部大学

第6回 東海学生女子柔道冬季優勝大会 同朋大学

東海学生柔道連盟 副理事長 福井 博泰

【北信越】

北信越学生柔道連盟は、現在 18 校の加盟校で構成されています。今年度は北信越地区のまだ加盟していない大学などへも積極的に加盟を呼びかけ、20 校になろうとしています。近年、多くの大学で部員確保が困難な状況で、大会参加はもとより日常の練習にも支障を来すところもあります。当連盟では柔道の強化だけではなく普及、練習環境の確保なども含めて夏・春の強化練習会なども企画し、多くの加盟校が集い、柔道の練習はだけでなく、学生間の情報交換や親睦を深める機会を提供しています。さらに、湊谷杯の運営などを通じて、学生が自ら考え、積極的に行動する機会を持つことで、学生の自主・自立と資質向上に貢献できるように取り組んでいます。

多くの先生方のご協力を得て企画しました第 10 回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会には、日本全国から出場のオファーを頂くようになりました。大会の規模も回を追うごとに大きくなり、昨年度は初めて女子の 7 階級、7 人制の試合も開催しました。非常に好評で、今年度も女子に関しては個人戦及び団体戦を開催することになりました。多くの学生の皆さんの参加をお待ちしています。

※強化合同練習会参加などの問い合わせ先につきましては下記の担当者を通してお申し込み下さい。

男子担当：渡辺直勇 金沢学院大学 076-229-8843
鈴木貴士 金沢工業大学 076-248-9926
女子担当：吉見浩二 高岡法科大学 0766-63-3388
渡辺涼子 金沢学院大学 076-229-8867

【事業予定】

5月17日 北信越学生柔道連盟役員総会
5月18日 北信越学生柔道優勝大会(男子63回女子23回)
8月7～11日 北信越学生柔道連盟夏季合同練習会(女子)
8月11～16日 “ (男子)
8月30日 北國杯國杯北信越学生柔道体重別選手権大会
(男子32回 女子25回)
8月31日 第15回北信越学生柔道体重別団体優勝大会
11月22、23、24日
第11回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会
2月22日 北信越学生柔道連盟常任理事会
3月2～6日 北信越学生春季強化合同合宿(男子)
3月25～27日 “ (女子)

※ 詳細連絡先

高岡法科大学内 北信越学生柔道連盟事務局
TEL (代表) 0766-63-338
mail : yoshimi@takaoka.ac.jp

【関西】

1. 平成 26 年度関西学生柔道連盟行事予定

5月25日(日)
第64回 関西学生柔道優勝大会
第22回 関西学生女子柔道優勝大会
(ベイコム総合体育館〔尼崎市記念公園〕)
8月31日(日)
第33回 関西学生柔道体重別選手権大会
第26回 関西学生女子柔道体重別選手権大会
(天理大学袖之内第一体育館)
10月25日(土)・26日(日)
全日本学生柔道体重別団体優勝大会
(男子16回 女子6回)
(ベイコム総合体育館〔尼崎市記念公園〕)

2. 本年度の抱負

今年度は、役員改選を行い、昨年に引き続き、佐野会長を中心に当連盟の運営にあたり、柔道界のさらなる躍進のため、頑張っております。

審判講習会等の実技を用いた指導においては、競技ルール的大幅な改正に伴い今年度から審判員のみならず、監督やコーチ、学生も参加できるようにするなど、関西全体の柔道に対する指導にもより一層力を入れております。

しかしながら、当連盟は、現在学生幹事が減少しており、大会運営等困難な状況にあります。一人でも多くの学生が当連盟の諸活動に興味を持ち、協力してもらえよう努力し、当連盟の未来を担う学生幹事を育てていきたいと考えております。

最後に、大会を運営するにあたっては、我々学生のみではなく、役員の先生方やその他さまざまな方々の多大な協力をいただいておりますことを、この場を借りて感謝申し上げます。当連盟はこれからも、円滑な大会運営等、関係諸活動に対し積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので本年度もよろしくお願い致します。

3. 役員紹介

会 長 佐野 修弘 氏
副 会 長 山岸 久一 氏
近藤 徹 氏
中治 洋一 氏
理 事 長 細川 伸二 氏

4. 加盟校

現在 54 校が加盟しております。

(2014 年 4 月現在)

【中国四国】

本連盟は、今年度60周年を迎えます。また、当連盟は、平成26年度から出口達也氏（広島大学）を新理事長として指名し、新体制で活動することとなりました。引き続き、当連盟をよろしくお願いいたします。

さて、平成26年2月22日に常任委員会を開催し、平成26年度の行事が決定されたとともに、当連盟に尾道市立大学の加盟も承認され、総勢32校となり、ますます発展していければと思います。

なお、下記のとおり、強化合宿も予定しておりますので、ぜひご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

（平成26年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定）

4月12日（土）

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会（岡山商科大学）

5月17日（土）～18日（日）

中国四国学生柔道連盟 理事会・総会

中国四国学生柔道優勝大会

中国四国学生女子柔道優勝大会（岡山県立武道館）

7月12日（土）

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会（徳山大学）

8月30日（土）～31日（日）

中国四国学生柔道体重別選手権大会

中国四国学生女子柔道体重別選手権大会

中国四国学生柔道体重別団体優勝大会

（山口県立下関武道館）

9月上旬・2月下旬

中国四国学生柔道連盟 男女強化合宿

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁

【九州】

平成26年度定例総会を5月17日に開催し、議題は全てご承認いただき可決決定いたしました。

第63回九州学生柔道優勝大会・第23回九州学生女子柔道優勝大会を5月17・18日に福岡武道館において、男子20校（207名）・女子9校（50名）が参加して熱戦が繰りひろげられました。

結果は次の通りです。男子 1部優勝 福岡大（2年ぶり40回目）・2部優勝 九州国際大（初優勝）。女子5人制優勝 福岡大（4連続9回目）・3人制優勝 鹿屋体育大学（4年連続6回目）。6月に開催されます全国大会に九州からは、男子6校（福岡大・鹿屋体育大・日本文理大・福岡教育大・熊本学園大・東海大九州）、女子5人制3校（福岡大・九州看護福祉大・九州共立大）、3人制4校（鹿屋体育大・別府大・福岡工業大）が出場致します。選手諸君の健闘を祈ります。

※役員及び26年度の九州地区の行事は次の通りです。

会 長 藤田 弘明

副 会 長 筑紫 仁、園田 勇

理 事 長 中原 一

副 理 事 長 安河内春彦

事 務 局 長 野田 修

5月17日（土）平成26年度定例総会

5月17日（土）第63回九州学生柔道優勝大会 2部

5月18日（日）第63回九州学生柔道優勝大会 1部

第23回九州学生女子柔道優勝大会

8月30日（土）第27回九州学生女子柔道体重別選手権大会

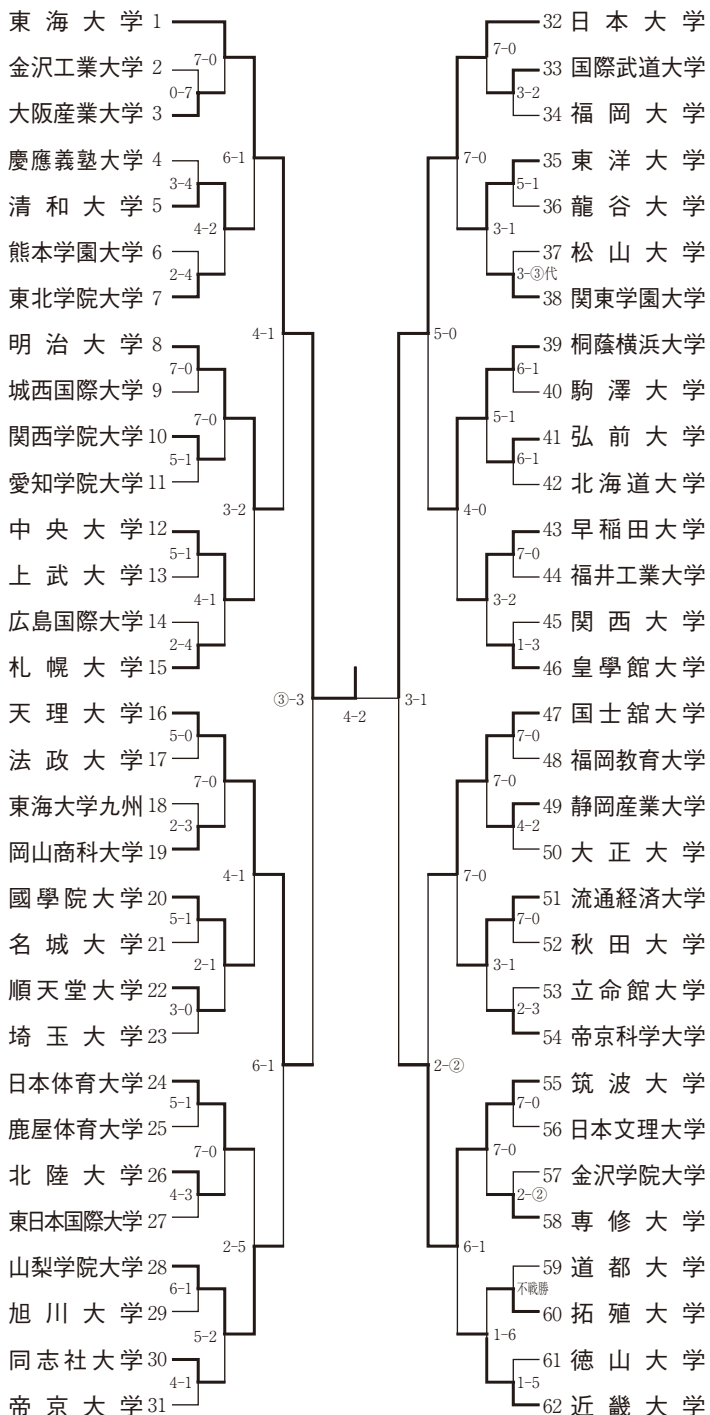
8月30日（土）第57回九州学生柔道体重別選手権大会

8月31日（日）

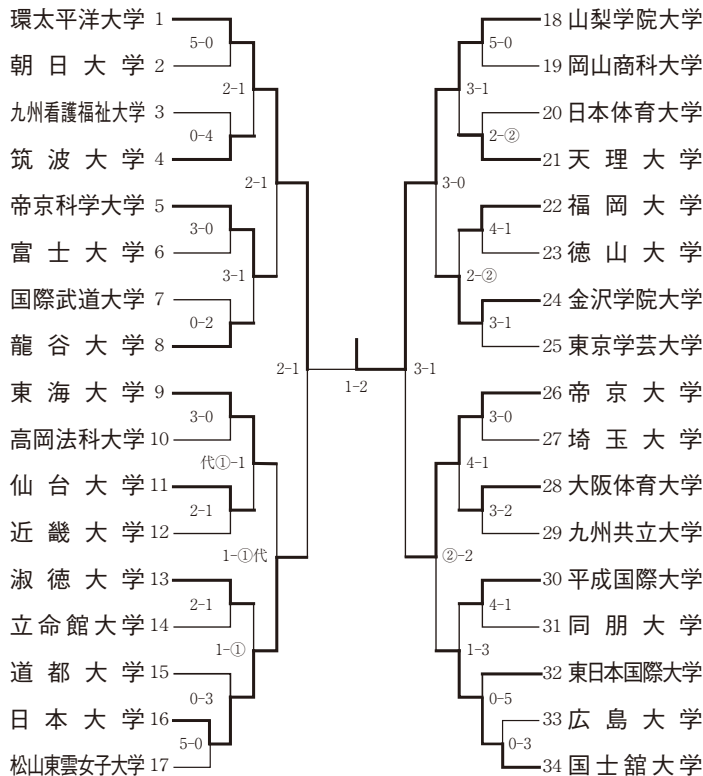
平成26年度全日本学生柔道優勝大会(男子63回 女子23回)

— 6月28・29日 開催 —

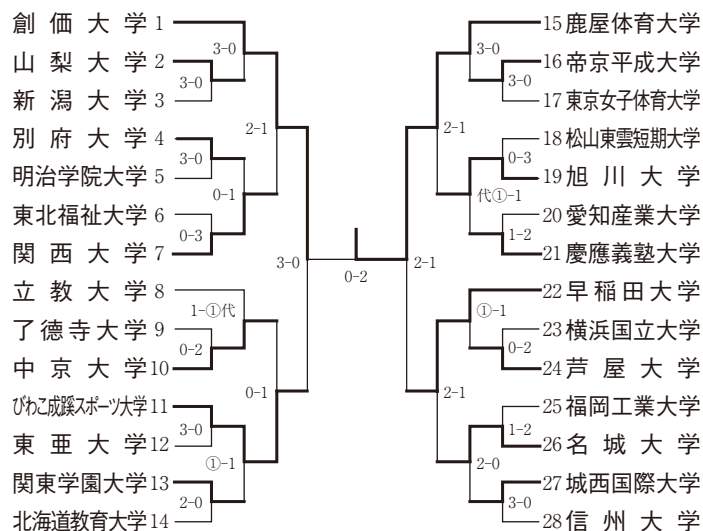
男子団体対戦表



女子団体5人制対戦表



女子団体3人制対戦表



一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp